



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月8日

上場会社名 池上通信機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6771 URL <https://www.ikegami.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清森 洋祐

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 青木 隆明

TEL 03-5700-1111

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	12,750	3.4	140		242		200	
2023年3月期第3四半期	12,335	25.6	1,225		1,206		1,218	

(注)包括利益 2024年3月期第3四半期 420百万円 ( %) 2023年3月期第3四半期 1,157百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	31.30	
2023年3月期第3四半期	190.56	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	30,573	13,070	42.8
2023年3月期	28,961	12,710	43.9

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 13,070百万円 2023年3月期 12,710百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		10.00	10.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	5.2	600		500		400		62.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2024年2月8日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	7,285,746 株	2023年3月期	7,285,746 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	881,488 株	2023年3月期	887,304 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	6,401,706 株	2023年3月期3Q	6,396,120 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

# Ikegami

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

また、世界経済におきましては、米国では景気回復の動きが継続しましたが、欧州では景気の弱含み状態にあり、中国でも景気の持ち直しの動きに足踏みが見られ、世界的な金融引締め動きや、ウクライナ情勢を背景とした資源を始め原材料価格の高騰、中東地域をめぐる情勢の影響などと併せ、景気の下振れリスクが存在する状況で推移しました。

このような状況下において、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、以下のとおりとなりました。

国内販売につきましては、放送システム事業の売上高は前年同期を下回りましたが、産業システム事業の売上高は、第2四半期に引続き前年同期を上回りました。

海外におきましては、アジア地域での売上高が着実に伸長しており、北米、欧州でも前年同期の売上高を上回りました。

この結果、連結売上高は、前年同期比 3.4%増の 127 億 50 百万円（前年同期売上高 123 億 35 百万円）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加に併せ、第2四半期に引続き原材料価格の高騰に伴う販売価格の見直し、改定による成果などもあり、売上総利益が大幅に改善されたことが寄与し、営業損益は前年同期比で 13 億 65 百万円改善し、営業利益 1 億 40 百万円（前年同期営業損失 12 億 25 百万円）となりました。

経常損益につきましては、営業外収益を為替差益などを計上したことにより、前年同期比で 14 億 48 百万円改善し、経常利益 2 億 42 百万円（前年同期経常損失 12 億 6 百万円）となりました。最終損益につきましても、前年同期比で 14 億 19 百万円改善し、親会社株主に帰属する四半期純利益 2 億円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失 12 億 18 百万円）となりました。

### (地域別市場概況)

国内販売につきましては、第2四半期に引続き地上波やCS放送局向け番組制作映像システムの販売が好調に推移しましたが、前年同期に売上を大きく伸ばした中継車システムの更新一巡による需要減をカバーするには及ばず、放送システム事業の売上高は前年同期を下回りました。一方、産業システム事業では、メディカル事業で、コロナ禍からの需要回復や新製品となる当社メディカル史上最高感度のカメラ「MKC-X300」の納入が開始されたことから、第2四半期に引続き医療用カメラの販売が堅調に推移しました。セキュリティ事業でも官公庁向け販売が引続き順調に推移するとともに、検査装置事業でも各種検査装置の販売実績を確実に積み上げることができたことから、産業システム事業全体で前年同期の売上高を上回りました。

北米地域におきましては、医療用カメラの販売が大きく伸長し、放送市場でも4Kフラグシップモデル「UHK-X700」の販売が好調に推移したことから、売上高は前年同期を上回る7億57百万円（前年同期売上高6億16百万円）となりました。

欧州地域におきましては、医療用カメラ、モニターの販売は前年同期並みに推移し、放送市場では南欧および中東地域の放送局、教育機関向けに4Kカメラ「UHK-X700」の大型案件の納入があったこともあり、売上高は前年同期を上回る15億9百万円（前年同期売上高12億20百万円）となりました。

アジア地域につきましては、第2四半期に引続き医療用カメラが中国市場での取引拡大と生産数の増加により販売量が増加したこと、ベトナム地域での4Kカメラの販売が伸長したことにより、売上高は前年同期を大きく上回る22億20百万円（前年同期売上高14億90百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、305億73百万円であり、前連結会計年度末に比べ16億12百万円増加しました。流動資産は、売掛金及び契約資産の減少、現金及び預金、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品の増加等により、前連結会計年度末に比べ16億29百万円増の256億2百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減少、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ17百万円減の49億71百万円となりました。

負債総額は175億3百万円であり、前連結会計年度末に比べ12億52百万円増加しました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少、電子記録債務、前受金、契約負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ10億33百万円増の126億43百万円となりました。固定負債は、社債の減少、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2億18百万円増の48億59百万円となりました。

純資産については、前連結会計年度末に比べ3億60百万円増加し、130億70百万円となりました。これは、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加と、その他の包括利益累計額合計の増加等によるものです。

この結果、自己資本比率は、42.8%（前連結会計年度末43.9%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症拡大に端を発した半導体を始めとしたサプライチェーンの混乱による影響は徐々に緩和され、通常仕入れルートからの安定的な調達が可能になりつつありますが、原材料価格の高止まりや一部部材の長納期化は、現在でも引続き存在しております。また、ウクライナ情勢の長期化や、中国市場の成長の鈍化、更には中東地域でのイスラエル・パレスチナ紛争による地政学的リスク、国内においては過度な円安による物価の高騰など、景気の下振れリスクが存在する先行き不透明な状況となっております。

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績および今後の見通しを踏まえ、2023年5月11日に公表しました業績予想を修正いたしました。通期連結業績予想の修正につきましては、本日（2024年2月8日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

尚、今回の売上高減少要因の一つである中国向けのメディカル事業につきましては、収益性が高い事業領域であることから、引き続き中国国内の情勢を注視しつつ、第4四半期内での売上増および更なる利益増に向けて鋭意商談を継続中です。商談の進展状況を踏まえて、業績の好転が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

※当第3四半期連結累計期間の売上高は、本日（2024年2月8日）修正いたしました2024年3月期の業績予想に比べ、通期予想を12カ月で除した進捗率と大きな乖離があります。これは、客先要求により年度末に納期を迎える受注が多いことから第4四半期連結会計期間に売上が集中する傾向があるためです。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,483	6,719
受取手形、売掛金及び契約資産	8,651	3,790
電子記録債権	796	545
商品及び製品	904	1,165
仕掛品	4,874	8,416
原材料及び貯蔵品	4,106	4,473
その他	176	510
貸倒引当金	△20	△19
流動資産合計	23,972	25,602
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,537	1,514
土地	1,779	1,794
その他（純額）	911	827
有形固定資産合計	4,228	4,137
無形固定資産	99	102
投資その他の資産		
投資有価証券	364	452
その他	357	340
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	661	732
固定資産合計	4,988	4,971
資産合計	28,961	30,573
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,274	2,001
電子記録債務	2,795	3,037
短期借入金	3,800	3,975
未払法人税等	114	32
賞与引当金	330	275
役員賞与引当金	10	34
製品保証引当金	115	118
その他	2,166	3,167
流動負債合計	11,609	12,643
固定負債		
社債	200	-
長期借入金	3,537	3,992
繰延税金負債	32	65
退職給付に係る負債	419	397
資産除去債務	25	25
その他	426	379
固定負債合計	4,640	4,859
負債合計	16,250	17,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	4,465	4,462
利益剰余金	2,927	3,063
自己株式	△909	△903
株主資本合計	13,483	13,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92	152
為替換算調整勘定	△934	△756
退職給付に係る調整累計額	69	51
その他の包括利益累計額合計	△772	△552
純資産合計	12,710	13,070
負債純資産合計	28,961	30,573

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	12,335	12,750
売上原価	9,434	8,341
売上総利益	2,900	4,408
販売費及び一般管理費	4,125	4,268
営業利益又は営業損失(△)	△1,225	140
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	6	6
為替差益	25	19
貸倒引当金戻入額	5	1
工事中止に伴う受入金	-	100
助成金収入	2	2
その他	25	20
営業外収益合計	65	152
営業外費用		
支払利息	43	48
支払手数料	1	1
その他	2	0
営業外費用合計	46	50
経常利益又は経常損失(△)	△1,206	242
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	2
和解金	5	-
特別損失合計	5	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,211	240
法人税、住民税及び事業税	6	40
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,218	200
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,218	200



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△1,218	200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	60
為替換算調整勘定	99	177
退職給付に係る調整額	△19	△18
その他の包括利益合計	60	219
四半期包括利益	△1,157	420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,157	420

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。